

陳繼東（ちん けいとう）

1963年に中国安徽省合肥生まれ。東京大学博士（文学）。北京大学講師、武蔵野大学特任准教授を経て、現在青山学院大学教授。専門分野は中国仏教史、近代日中仏教の交流と近代中国思想の研究。著書には『清末仏教の研究：楊文会を中心として』（山喜房仏書林、2003）『小栗栖香頂の清末中国体験：近代日中仏教交流の開端』（山喜房、2016）論文には「近代仏教の夜明け：清末・明治仏教界の交流」（『思想』943号、岩波出版、2002.11）「太鼓腹の弥勒は仏教なのか：布袋伝記考」（伊東貴之編『「心身／身心」と環境の哲学：東アジアの伝統思想を媒介に考える』、汲古書院、2016）「章炳麟与明治仏教：以『日本及日本人』雑誌を中心」（周東華ら編『章太炎与他的時代』、上海人民出版社、2020）など多数。